

**縄文のビーナスプランより茅野市がめざす子どもの姿**

「自分の人生・自分たちが生きていくまちの未来をえがくこども(生きる力)」



「相手に生きる私」を積み重ねていくことは未来をえがく子どもを育てること

**永明中学校区「めざす子ども像」 相手に生きる私**

永明中校校区教育目標:「ふれあい つむぎあい 共に磨き 生きる力を高めていく 児童生徒」



学校教育目標を実現していくことで「相手に生きる私」を見つけていく

**永明中学校学校教育目標 「響き合い 磨き合い 誠実に生きる」 R5年度より**

**響き合い**：多様性を認め合い、互いの思いを感じ、敬い合う心の通い合い…「敬愛」

**磨き合い**：学習、部活動、生徒会活動、地域における活動などを通して、内なる自分や共に活動する人との切磋琢磨することによって、自分を含む皆が輝き増すように努力すること…「努力」

**誠実に生きる**：自分の生き方に対して誠実に向き合う、永中に引き継がれてきている精神…「誠実」

1 今年度の学校運営の方針

(1) 学校長の願い めざす子ども像「相手に生きる私」の具現

私たち教職員の使命は、生徒が将来幸せに生きるための力（生きる力）をつけることだと考えている。どの生徒にも良さや可能性があり、多様な生き方がある。そこに我々教職員が思いを寄せ、生徒の成長を願いながら子どもを中心に据えた教育活動を行っていくことにより、予測困難な時代をたくましく生きていくための「生きる力」を子どもたちは育んでいくと考え、そのような学校を私は創りたいと考えている。そして、この「生きる力」は、地域の方や仲間と協力し、同じ目標に向かって汗を流した学びを通して、相手の輝きや喜びを感じ、そこに自分の輝きや高まりを感じられる場面で、育まれてくると考えている。

令和7年度学校グランドデザインでは、めざす子ども像の具現のための学校教育目標を示している。本校で大事にしている「自分の頭で考え、行動すること」をベースに、同世代や異年齢の友だち、PTA・CSをはじめとする地域の方々と共に活動することを通して、相手の思いに触れ、多様性を認め合い、共に力を発揮する学びを大切にして「相手に生きる私」をめざしていく。

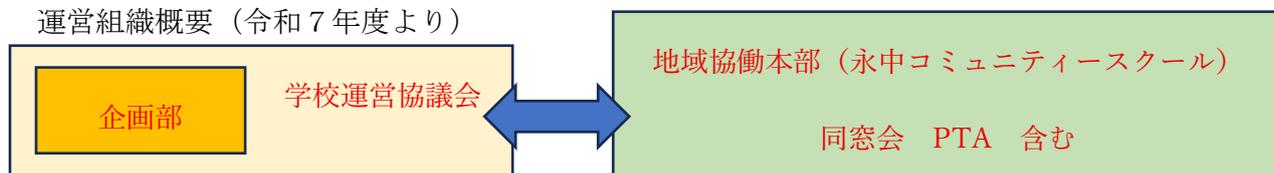
「相手に生きる私」を追い求めていくことは、今も昔も変わらぬ「生きる力」を求めることであり、予測困難なこれからの時代を生きていく上で大切な力とも考えている。温かい教師集団、温かい学校を創るとともに、新たな学校創りの二年目を踏み出したいと考えている。

(2) 永明中 CS 今年度（令和7年度）の重点

これまで永明中学校では、同窓会や歴代PTAの役員、地域ボランティアの皆さんによる献身的な支援をいただいていた。中学生は地域の方々に大事に支援される側であった。

昨年度の新校舎における学校創りを機会に、地域の一員として地域の力になれる中学生を目指して学校運営協議会の皆さんと検討をした。その結果、地域協働本部の高年齢化と新たな学校に合う活動にしていく必要があり、組織の改編を実施した。今年度はその新しい組織によるスタートの年である。学校と地域が「このような子どもに育てたい」「このような地域にしていきたい」「そのために中学生は何ができる」というように、願いを共有しながら、一体となって地域の中の学校として、学校と地域の協働を推進していきたい。

2 運営組織概要（令和7年度より）



### 3 運営組織

#### (1) 学校運営協議会

組 織	氏 名
会 長 <span style="color: red;">企画部</span>	樋口 公男 R4CS 会長 同総会顧問 前同窓会長
副会長 <span style="color: red;">企画部</span>	平出 美彦 R4CS 副会長 R4 同総会副会長
地域学校協働活動推進委員 (Co) <span style="color: red;">企画部</span>	矢崎 美知子 元人権擁護委員
委員	吉田 貞夫 元PTA 会長 元米沢コミュニティ所長
委員	宮下 荘治郎 元上諏訪中学校校長
委員	久保田純一 R7PTA 会長
委員	小川 深志 主任児童委員
委員	藤森 隆 ちの地区コミュニティーセンター長
委員 <span style="color: red;">企画部</span>	矢崎 知広 学校長
委員	切石 泉 教頭 事務局
委員	伊東英里子 教務主任 事務局

#### (2) 地域協働本部（呼称：永中コミュニティースクール）とした。

組 織	支援組織 6年度年度3月7日に改定
地域学校協働活動推進委員 (Co)	(旧) 学習支援部、体験活動支援部、心の支援部、読書教育支援部、部活動支援部、環境安全整備部 (新) <span style="color: red;">企画部、環境安全整備部、教育活動支援部、読書教育支援部、生き方教育（キャリア教育）支援部</span>

※7つの支援部から5つの支援部へリニューアル

(理由) 今までの学校支援部の名簿は、基本的には前年からの引継だった。最近CSへの参加者が少なくなっていることをきっかけに名簿の見直しをしたところ、それぞれの事情で学校を支援する思いはあっても活動に参加できない方がいることが分かった。そこで学校運営協議会において、今までの学校支援という発想から、共に地域作りを担っていくコミュニティースクールでありたいという願いを再確認し、名簿及び支援部の統合を行った。

#### (3) 運営会議 学校運営協議会 地域協働本部 年6回

日 時	内 容
4月21日(月)	第1回学校運営協議会 今年度の学校運営協議(CSの意義、学校運営方針の承認、各部会組織検討・自己紹介、年間計画立案、意見交換)
6月6日(金)	第2回学校運営協議会 PTA作業検討 部活動地域移行でできること協議
7月7日(月)	第3回学校運営協議会 スチューデントティーチャー企画協議講演会(共催)
10月3日(金)	第4回学校運営協議会 授業参観 ジョブギャラリーの計画
12月4日(木)	第5回学校運営協議会 スチューデントティーチャーの計画
3月7日(金)	第6回学校運営協議会 今年度のまとめ

#### 4 主な予定（令和6年度のまとめをふまえ）

##### (1) 企画部

- ・CS主催のチューデントティーチャー（7月と12月予定）地域の中学生が小学生の宿題の面倒を見る企画。※令和6年度は夏のみ 今年度は夏と冬の予定
- ・小学校CSとの連携および同窓会との連携を深めていく。
- ・夏に本校の社会体育館を利用しての避難所開設訓練がCS主体で地域の方々と共にできないかを検討する。
- ・中学生の地域貢献について検討を始める。

##### (2) 環境安全整備部

- ・PTA作業（9月予定）CS方にも協力参加していただく方向。
- ・夏季休業あけの花壇の草取りが大変困難な状況なので、CSで可能か検討をはじめめる。

##### (3) 教育活動支援部

- ・1年生宿泊体験学習（5月21日）火起こし体験活動 矢島委員指導者
- ・家庭科の授業支援（2月） ミシンと郷土料理（寒天料理）についての指導 矢崎委員
- ・银杏祭（9月）スポーツフェスティバルで音響設備の設置 五味委員
- ・合唱祭（11月）の合唱指導 宮下委員
- ・探究発表会（中間9月と本番12月）地域の支援者として参加要請

##### (4) 読書教育支援部

- ・ボランティアの方々による読み聞かせの会（全7回）実施 ・読書図書館教育を軸とした探究的な学び（ビーナスプラ2）を今年度から展開していくので、企画推進に協力してもらおう。

##### (5) 生き方教育（キャリア教育）支援部

- ・ジョブギャラリー「キラッと茅野」（11月） 昨年度から永明・米沢共に6年生と永明中1年生

##### (6) その他

- ・SNS講演会への協力参加（6月2日）